

福井県立恐竜博物館映像資料制作業務委託プロポーザル  
『フクイサウルスのすべて【仮題】』

業務内容仕様書

福井県立恐竜博物館

下記仕様にに基づき、映像資料制作を実施すること。ここに記載されていない事項であっても、現場の状況に応じ、映像制作に必要な業務については、協議の上、委託金額の範囲内で内容を変更できるものとする。

## 1 シナリオ制作

- (1) 撮影（制作）内容、時間、ストーリー、ナレーションなどを詳しくまとめたものをシナリオとして制作すること。
- (2) 小学校高学年が十分理解できるような内容とするために、シナリオやテロップなどを工夫すること。
- (3) 現地の地形等の映像、研究者のインタビューなどをテンポよくまとめ、必要に応じてアニメーションやCGなどの解説映像を作成して盛り込むこと。
- (4) インタビューを含め、ナレーション案を作成すること。

## 2 撮影

- (1) 映像制作に必要なロケを行う。次の撮影地における撮影は必須とし、そのほか、独自の企画があれば提案すること。取材には恐竜博物館職員（以下「監督職員」という。）が同行するものとする。
  - ア 徳島県立博物館（徳島県徳島市）での標本撮影（時期未定、現地実質1日程度）
  - イ 富山県富山市での標本撮影（時期未定、現地実質1日程度）（撮影内容はシナリオ案による。）
- (2) 映像制作に必要な館蔵資料、展示の撮影を行う。
  - ア フクイサウルス実物化石および全身骨格
  - イ コシサウルス実物化石
  - ウ 常設展示中恐竜全身骨格8体程度（その他、撮影内容はシナリオ案による）□恐竜博物館所蔵の標本資料（骨格標本、背景画等）の撮影には使用料は不要。
- (3) 馬の咀嚼の映像  
恐竜の咀嚼の比較として馬の咀嚼映像を挿入すること（1分程度）。映像は、撮影でも著作権処理をしたものでも良い。
- (4) 科学番組として、視聴者を惹きつけるインタビュー方法や骨格撮影方法を取り入れること。
- (5) 機材等については、ベータカム、業務用デジタル等、通常の業務用機器仕様とする。

### 3 アニメーション・CG等の制作

視聴者の理解の手助けとなるアニメーションやCG等の制作を行う。以下の点でその内容は館職員との協議のうえ基本的に新規に制作するものとする。（シナリオ参照）

#### （１） 恐竜生体CGとCGアニメーション制作

恐竜博物館所蔵の恐竜生体模型12体（フクイラプトル、フクイティタン、フクイベナートル、イグアノドン、シリントーナ、フクイサウルス、コシサウルス、プロバクトロサウルス、ニッポノサウルス、パラサウロロフス、オロロティタン、エドモントサウルスなど）のCG制作。

上記のCGを利用し、CGアニメーション制作。

#### （２） 全身骨格3Dデータ化およびアニメーション制作

フクイサウルスの全身骨格の3Dデータ化。一部は実物骨化石からのデータ化とする。3Dデータを利用し、顎や手や足の動きを再現する。

#### （３） 発掘現場3Dデータ化およびアニメーション制作

博物館所蔵の発掘現場3次元計測データを利用し、発掘現場の復元を行う。また、発掘地点などの情報を加え、映像で解説を行う。

#### （４） 系統図アニメーション

恐竜の系統図（博物館所蔵）にイグアノドン類の分類がわかるように、系統図と制作した恐竜CGを組み合わせる。

### 4 既存資料の著作権処理など

映像等の資料の一部として使用するため、既存映像、写真等の著作権処理を行う。

博物館所蔵標本が中心となるため、基本的に著作権料は発生しない。ただし、模型の撮影などでの製作者への許可などの手続きが発生することがある。

インタビューは博物館職員に行うため、謝金などは発生しない。

### 5 ナレーション

#### （１） ナレーションを入れること。

#### （２） ナレーター等は受託者において手配すること。

### 6 字幕

#### （１） 日本語の字幕を入れること。

### 7 編集作業

#### （１） 15分程度（±2分は許容範囲とする）の放映時間とすること。

#### （２） 場面に適したBGMを入れ込むこと。

#### （３） 画面サイズは16：9とする。

#### （４） 科学番組として魅力ある映像処理などを取り入れること。

## 8 複製作業

- (1) 完成品の納品は以下のものとする。
  - ア DVD (3部) (市販のDVDデッキで再生可能なもの)
  - イ MPEG 2データファイル (CD: 3部)
  - ウ MPEG 4データファイル (ハイビジョン対応: DVDまたはBlu-ray Disc)
- (2) MPEG 2データは、下記のデコーダカードで再生でき、福井県立恐竜博物館VODサーバおよびVOD端末上で完全動作すること。
  - ・機器型式 FMV-MPD 203
  - ・ビデオ MPEG 2 MP@ML (ISO/IEC 13813-1)
  - ・オーディオ MPEG 2 (MPEG 1 レイヤ2) ISO/IEC 13813-3 (ISO/IEC 11172-3)
  - ・システム MPEG 2 MP@ML (ISO/IEC 13813-1) プログラムストリーム
- (3) MPEG 4データは、以下の様式とすること
  - ・1080p. 30fps
  - ・ビデオ H. 264
  - ・オーディオ AAC-LC
- (4) 上記の完成品とは別に、ロケで撮影した映像素材の複製物一式を納品するものとする。納品メディアについては、館職員と協議すること。

## 9 試写および微修正

- (1) 納品以前に恐竜博物館において試写を最低2回行うものとする。
- (2) 試写の場で指摘を受けた箇所については可能な限り修正を行うこととする。

## 10 その他

- (3) 納入される成果物に関する著作権法上の権利等は、基本的に福井県立恐竜博物館に帰属させること。なお、恐竜博物館が許可した場合には、恐竜博物館内外での上映やビデオ販売などを可能にできるよう留意すること。
- (4) シナリオの内容変更による撮影物・場所、制作物内容・規格の変更は館職員と協議の上で予算内で可能なものとする。
- (5) ロケで撮影した映像素材は、ハイビジョン対応画質で恐竜博物館の今後の事業において無償で利用できるものとする。
- (6) 撮影・制作に要する経費 (CG 制作、県立恐竜博物館の指定する監督職員等にかかる経費を含む) は、すべて受託者の負担とする。
- (7) 映像資料全体を通しての質・仕様については、当館既存資料と同等程度を確保すること。
- (8) 以上全てについて、映像制作に必要な作業を適切に行うこと。